

社保シリーズ

# 根面う蝕管理と 糖尿病患者の管理

1

社保研究部

今回は、根面う蝕において今次改定で新たに評価された根面う蝕管理料(根C管)について解説する。また、医科からの情報提供により確認した糖尿病患者について、算定緩和されたものを解説する。

## 症例解説

症例は、糖尿病を疑い主治の医師に診療情報等連携共有料1(情共1)で照会をかけている(11/2)。情共1は、電話、FAXまたは電子メールで情報提供を求めた場合であっても算定できる。脳梗塞により半身麻痺を有した患者であるため、歯科診療特別対応加算1(特1)を算定している。特の算定の場合、カルテにその日の状態を毎回記載する。

総合医療管理加算(総医)は、別の医科保険医療機関の担当医から文書により、対象患者の全身状態や服薬状況などについて診療情報を受けたものについて、歯科疾患管理料(歯管)に50点を加算する。文書が必要なため、返書を確認し算定している(12/3)。

### 総医の対象患者

糖尿病の患者、骨吸収抑制薬投与中の患者、感染性心内膜炎のハイリスク患者、関節リウマチの患者、血液凝固阻剤もしくは抗血小板剤投与中の患者、認知症の患者、神経難病の患者、HIV感染症、特1、2の感染症、特3の対象者

患者は上顎総義歯であるため、残存歯は12本となり、舌苔の付着程度から口腔衛生状態不良であることを確認している。「口腔機能低下症」の診断である①口腔衛生状態不良②口腔乾燥③咬合力低下④舌口唇運動機能低下⑤低舌圧⑥咀嚼機能低下⑦嚥下機能低下—のうち、2項目で低下を来しているが、「口腔機能低下症」の確定診断にまで至らず「口腔機能管理中」病名で歯科衛生実地指導料(実地指)の加算である口腔機能指導加算(口指導)10点を算定し、口腔機能低下症に至らないように継続的に指導する(11/2、12/3)。

下顎前歯に根面う蝕を確認。歯管を算定した65歳以上の患者であるため、う蝕の進行抑制を目的とし、患者などの同意を得て、管理計画を作成するとともに内容を説明した場合、根面う蝕管理料(根C管)月1回30点を毎月算定できる。また、フッ化物歯面塗布処置(F局)を実施した場合、3月に1回80点算定する(11/2)。

機械的歯面清掃処置(歯清)は、糖尿病患者であり、主治医から情報提供があれば毎月算定できる。また、歯周病処置(P処)において、糖尿病患者であればポケットが4mm以上の歯周病を有し、炎症が強い場合は、SCと同日であっても認められる(11/10、11/17)。今次改定で有病者(糖尿病患者)について、算定間隔の短縮や加算点数が設けられ、評価されている。

特を算定する場合、レセプト摘要欄に診療時間を記載する

補診算定にあたり、製作を予定する部位、欠損補綴物の名称、欠損部の状態、欠損補綴物の設計などを記載する

「初期根面う蝕の管理に関する基本的な考え方」を参考にする



口指導は、口腔機能低下症の確定診断にまで至らない場合「口腔機能管理中」病名で管理する

医管は、届出医療機関において糖尿病であることがお薬手帳などで確認ができれば算定を開始できる

糖尿病患者であって、炎症が強い場合SCと同日でもP処が算定できる

医情は12月から点数が変更となる

医科からの文書必須。レセプト摘要欄に主病の紹介元保険医療機関名を記載する

カルテには患者の血圧、脈拍、経皮的動脈血酸素飽和度をイベント毎に記載する

糖尿病患者は歯清が毎月算定できる。レセプト摘要欄に糖尿病である旨を記載する

文書での情報提供は6カ月に1回以上実施する

部位	傷病名	診療開始日
7— —7	義歯フテキ	令和6年11月2日
6— —6	P <sub>2</sub>	令和6年11月2日
3 2 1   1 2 3	根C	令和6年11月2日
	口腔機能管理中	令和6年11月2日
〔年齢〕82歳男性		
〔主訴〕全体的に歯がしみる、上の義歯が落ちてくる		
〔所見〕3— —3 根面う蝕認める 歯肉の発赤あり		

月日	部位	療法・処置	点数
11/2		初診 外安全1 外感染1 医情1 (267+12+12+3)	294
		2年前に脳梗塞で右半身麻痺	/
		バイアスピリン100mg 1日3回服用中	/
		残存歯12本、舌苔付着67%	/
		特1 (11:37~12:11) (175)	175
		車椅子から診療台に介護者の協力で移乗できたが、体幹安定せず	/
	7— —7	補診(記載略) (70)	70
		床適合(硬) set (790×170/100+230×150/100)	1688
		直接法で対応 有床義歯内面適合法	/
		歯リハ1 (1) (124)	124
		左上が咬むと痛いため削合、研磨し調整	/
	6— —6	P基検 (検査結果別紙) (110)	110
		情共1 (120)	120
		〇〇内科に糖尿病の管理状況、検査結果を照会	/
		歯管 文 (治療計画別紙) (80+10)	90
	3— —3	根C管 (30)	30
		根面う蝕部位を確認し、フッ素塗布について説明	/
		F局 (80×150/100)	120
		実地指1 口指導 (80+10)	90
		有床義歯の管理と舌を含めた口腔内清掃を指導する	/
		よう指示	/
11/10		再診 明細 再外安全1 再外感染1 (58+1+2+2)	63
		特1 (11:26~12:02) (175)	175
		緊張が強く体幹安定せず	/
		医管(検査結果略) (45)	45
	6— —6	SC ((72+38×2)×150/100)	222
		歯清 (72×150/100)	108
		P処(糖) (14×150/100)	21
		ペリオクリン歯科用軟膏10mg0.5g 1シリンジ (53)	53
11/17		再診 明細 再外安全1 再外感染1 (58+1+2+2)	63
		特1 (11:21~12:03) (175)	175
		体幹安定せず	/
	6— —6	P処(糖) (14×150/100)	21
		ペリオクリン歯科用軟膏10mg0.5g 1シリンジ (53)	53
11月分 3,910点			
12/3		再診 明細 再外安全1 再外感染1 医情 (58+1+2+2+1)	64
		特1 (11:33~12:06) (175)	175
		体位維持かなり困難	/
		歯管 文 (100+10)	110
		総医 (50)	50
		〇〇内科から糖尿病にて管理中メトグルコ錠1日	/
		500mg投与、HbA1c 8.5	/
	7— —7	歯リハ1 (1) (124)	124
		左上67部Du1 義歯同部位研磨	/
		医管(検査結果略) (45)	45
	6— —6	歯清 (72×150/100)	108
	3— —3	根C管 (30)	30
		実地指1 口指導 (80+10)	90
		フロスの使用、頬粘膜のマッサージ指導するよう指示	/
12月分 796点			